

ハロウィン

第83号

生涯学習情報

●連絡先●

生涯学習課
☎20-1559

ふだん着の国際交流

茂原市立美術館・郷土資料館内には「オーストラリア ソルズベリー市のモハラパーク」にある像の原型（なかよし・佐藤高元作）と公園の写真があります。ソルズベリー市は茂原市の姉妹都市です。茂原市では、その他の国の短期留学生や研修生も受け入れています。市内には1000人を超す外国人が住んでいますが、そうした方々とも、茂原市国際交流協会が協力し、加盟の民間9団体を中心となり市民レベルでの国際交流を進めています。



美術館と同じ像のあるモハラパーク



美術館の像の原型
美あ原

姉妹都市って？

ソルズベリー市は、気候や人口規模などが茂原に似ている地方都市で、平成14年から公式な交流が行われています。昨年はソルズベリーから市長と市民15名を七夕祭りに招待しました。

また、相互交流としては、ソルズベリーからは中・高校生が来訪し、茂原からは中学生がショートステイに行きます。今年、ソルズベリーを訪れた生徒から、こんな感想が聞かれました。「食事や生活習慣は大きく違い、英語での意思疎通はとても難しかったです。話すスピードが速く理解できない場面も。でも学校では言葉をお互いに理解しようとして交流できた。国籍は違っても、理解し合おう」という気持ちがあれば異文化交流の架け橋になれるような気がしました。英語に馴れたところで帰国になった」とのこと。将来有望な国際人が、育つというように頼もしい限りです。



やまとなでしこ活躍中

茂原市が、外国からのお客様をお迎えする際に活躍しているのが、茂原市国際交流協会（MIFA ミミアファ）です。平成24年に設立され、9つの民間団体と個人会員・協賛企業で構成されています。日本を訪れた外国人に日本文化を紹介したりしています。やはり外国の方にはお茶・お花・和服は大好評なのだそうです。



ソルズベリーの方々との交流

茂原市国際交流協会(MIFA) 9団体

1	茂原ロータリークラブ
2	茂原市中国語学習会
3	茂原IVC（日本語会話）
4	南総少年野球国際交流連盟
5	フィリピン人の会
6	茂原中国語学習会
7	茂原市文化国際交流振興会
8	国際交流団体あんさんぶる茂原
9	中国語サークル/中国家庭料理サークル

賛助会員：7団体・個人会員22名

茂原に定住している方への生活相談、言葉や文字の問題のフォローもしています。茂原IVCの日本語教室には、在日して十年くらいの漢字学習者がいます。支援者からこんなお話を伺いました。「中国の学習者から野菜を頂いたので、有難うとメールしたら、次の学習日に『腐っていた？』と言われました。中国では有るよ難物という意味だった』そうです。

ファストフードが好き

MIFAのひとつ、南総少年野球国際交流連盟の方に聞くと、来日したペルーの子どもたちが大好きだったのは、手のかかった和食よりファストフード。子ども同士の最強のコミュニケーションツールはやっぱりゲーム機とか。遊びのツールは万国共通なのでしょうか。

ホストファミリーとなるご家族にも、外国語が全く話せない方々もいらつしやるとかでも、言葉のことは心配しなくても大丈夫のようです。おもてなしという言葉が昨年の流行語になりましたが、意識して頑張りすぎなくても良いようです。



市民へ広がる交流

MIFAでは、草の根の国際交流を目指して様々な企画を催しています。毎年、もばら七夕祭りでは、国際交流のイベントを開催しています。今年も、英語・韓国語・中国語でネイティブと話そう！という気軽にできる交流サロンを開きました。韓国語が大好きで「韓国語がしゃべれるようになって現地に行きたい」という方々が参加して、大いに盛り上がりました。

今年2月に行われた中央公民館駐車場での「茂原冬の七夕まつり」では、世界の飲み物を販売し、外国語ワークショップを行いました。茂原市産業まつりや茂原まるまるマルシェのイベントにも参加し、異国の食文化や特産品の紹介・販売が行われています。（次頁へ）